



堤 地区で農業を営む重山（しげやま）公一（こういち）さんは、ピーマン、露地でメロンやきゅうりなどを栽培しています。農業は水が命。ハウスでピーマンを栽培すると、冬でも収

穫が可能になります。降水量が少ないため、肝心の水の確保が困難です。そこで公一さんは、近くに池を作り、雨水を貯め、水が不足する冬場は、それを利用して

畑かんて変わる農業
いのちのち
生農地の水が作物に命を吹き込む
雨水だけでは水の確保は困難を極める
商品作物を栽培する農家の苦悩と畑かんの恵み

農業と水

ました。それは、氷水のような冷水。温かい気温で育つピーマンに良いはずはありません。「水の確保が本当に難しかった」というのが当時の状況でした。しかし、その状況が好転して

現在、息子の公昭（きみあき）さんと二人三脚で頑張る毎日。安定した水の恵みに感謝しながら、今日も農業に汗を流しています。

Interview

インタビュー

農業経営は畑かんの水無しには考えられません。



しげやま きみあき 重山 公昭 さん

就 農して6年目になります。両親と一緒にやる日々の農作業は、覚えることばかり。現在、JA小林のピーマン部会に入り、勉強中です。今後、独り立ちできるように頑張っています。

私たちの農業には水

が欠かせません。私は水が豊富にあることが当たり前のように考えていました。しかし、父から水に苦労していた時の話を聞き驚いています。現在の状況を考えると、畑かんの水無しには考えられません。ですから、畑かんの水には本当に感謝しています。



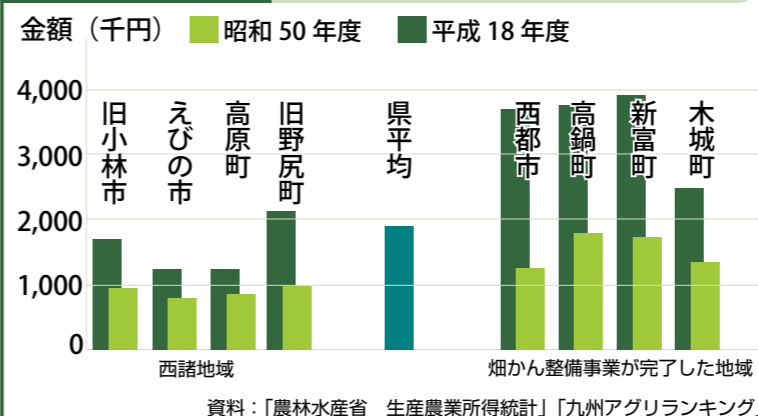
生きる農地の水、それは命の水 西諸畑地かんがい整備

小 林市を含む西諸地域の南西部に位置する中間農業地域です。しかし、この地域のかんがい整備は、ほとんど未整備の状況。用水を雨水に頼っているものの、地域の降雨特性と地力に乏しい火山灰土壌であることから、農業生産性の向上が阻害されています。また、水田地域の水利施設は極度に老朽化。施設の維持管理費の増大をも

たらしてきました。このため、国営西諸畑地かんがい事業では、水田や畑への安定水源確保のため、浜ノ瀬ダムを築造。用水路、末端用水路の整備、区画整理などの基盤整備を行います。これら畑地かんがいの導入により、農作物の生産性向上と農業経営の安定を目的としています。

●問：農業振興課
TEL 23・0333

Income 農家1戸あたり生産農業所得



▶立上式のスプリンクラーによる散水が行われるさといも畑【小林市・堤地区】



季節・気象条件に左右されない安定した水の供給を可能にする巨大プロジェクト

Data データ



生農地の水がめ

浜ノ瀬ダム (平成 23 年 8 月 10 日撮影)

- 浜ノ瀬ダム（平成8年着工）
重力式コンクリートダム
（堤高：62.5m、堤長：183m、有効貯水量：750万立方m）
・ダム完成予定：平成27年3月
・供用開始：平成27年度から随時

●小林市の受益面積

区分	受益面積
水田	490ha
普通畑	1,950ha
樹園地	150ha
合計	2,590ha

●問：農業振興課
TEL：23-0333